

1 基本項目	事務事業名	放課後子ども教室推進事業			担当部署	課等名	地域協働課	
	予算事業名	放課後子ども教室推進事業				係名	協働推進係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1131	
	事業期間	開始年度	平成13年度	終了年度	当面継続	会計	一般会計	
	目標名	目標2. 未来につなぐまち					款	教育費
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項目	社会教育費
	施策名	施策14. 生涯学習の推進						目
	基本事業名	基本事業14-1. 学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上				総合計画 との関連	記載あり(評価対象)	
	根拠法令						集中プラン との関連	関連あり(評価対象)
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)				関連なし		

2 事業概要	事業概要	放課後における子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域住民の参画を得て、勉強やスポーツ・文化活動等地域に根ざした多様な体験活動の機会を提供し、地域全体で子どもたちを育む。主として小学校児童を対象に市内全地区の公民館及びコミュニティセンターと星の杜小学校において、様々な遊び、料理、伝統芸能、サークル活動等を行う。	
	対象	市内の小学生	
	手段(活動指標)	平日放課後並びに土日・祝日に公民館等でサークル活動・体験活動を実施する。	
	意図(成果指標)	放課後において子どもたちの安全な居場所が確保される。	

3 指 標	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動 成果	① 実施教室数	箇所	16	16	16	16	100.0%	16
	② 教室開催数(総数)	回	204	253	303	256	84.5%	300
	① 参加者数(延べ)	人	2,374	3,351	4,354	3,929	90.2%	4,300
			②					

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計(A)	円	1,400,661	1,688,616	1,950,000	1,604,980	-5.0%	1,864,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円	928,000	1,124,000	1,292,000	1,069,000	-4.9%	1,236,000
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	-
	②年間所要時間	時間	900	900	700	700	-22.2%	-
	③人件費(②×@ 3,956円)(B)	円	3,560,400	3,560,400	2,769,200	2,769,200	-22.2%	
総費用(A+B)	円	4,961,061	5,249,016	4,719,200	4,374,180	-16.7%		

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>放課後子ども教室は、地区公民館と小学校で3教室を開設(松倉公民館・加積公民館・星の杜小学校)星の杜小学校での教室は、放課後子ども総合プランによる放課後児童クラブとの一体型としての活動。土曜教室は、各地区公民館で13教室を開設 令和6年2月27日には放課後対策事業運営委員会を開催して、事業の実施状況や課題の整理、放課後児童クラブとの連携などについて協議した。</p>	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	②目的の妥当性
有効性	B	B	有効性をさらに高めるため若干の改善が必要	③対象の妥当性	1 妥当である	①目標達成度	2 目標どおり	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし	③上位施策への貢献度	2 普通	
1次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	①コスト効率	2 普通	②実施主体の適正化	1 適正である
	今後の方針	○現状を維持 □事業の拡充 △事業の縮小 ◇統合等の検討 ●終了又は廃止・休止	方針の説明等	少子化対策としても重要な事業であり、関係団体と協議して事業を展開していく必要がある。また、小学校の統合により、実施場所や方法について見直していく必要がある。R6公民館のコミセン化に伴い、公民館活動振興事業と併せて事務の所管について協議、検討し、R6年度から教育委員会生涯学習・スポーツ課へ事務を移管することとした。	③負担割合の適正化	1 適正である	不要	

1 基本項目	事務事業名	公民館大規模修繕事業（公民館施設整備事業）				担当部署	課等名	地域協働課
	予算事業名	公民館費施設整備事業（繰越明許・事故繰越含む）					係名	市民交流係
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1131
	事業期間	開始年度	平成13年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計
	目標名	目標2. 未来につながるまち					款	教育費
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項	社会教育費
	施策名	施策14. 生涯学習の推進					目	公民館費
	基本事業名	基本事業14-1. 学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上					総合計画主な事業	記載なし
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし	
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連あり（評価対象）	

2 事業概要	事業概要	住民が集い、ふれあい、学ぶ場である地区公民館で安心して事業が行えるよう、耐震性の無い公民館には耐震補強をするとともに、経年劣化等により大規模修繕が必要な施設においては大規模改修を行い、快適で安心して利用できる施設にする。
	対象	地区公民館
	手段（活動指標）	大規模修繕や耐震化工事を必要とする公民館の工事を行う。
	意図（成果指標）	大規模修繕や耐震化工事が必要な施設には工事を行い、住民が安心して利用できる施設を増やす。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 大規模修繕等実施か所数	館	1	1	1 (R4継続)	1		-	
	②								
	成果	① 耐震化対応済みの公民館数	館	11	11	12	12	100.0%	-
		②							

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	78,514,560	292,679,273	406,494,475	401,449,596	37.2%	
	①国庫支出金	円	38,186,666	97,035,050	197,310,284	195,989,000	102.0%	
	②県支出金	円				567,000		
	③地方債	円		172,702,000	182,800,000	148,010,000	-14.3%	
	④その他（使用料、雑入等）	円						
	⑤一般財源	円	40,327,894	22,942,223	26,384,191	56,883,596	147.9%	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	2	2	2	0.0%	-
	②年間所要時間	時間	800	1,400	1,000	1,000	-28.6%	-
	③人件費（②×@ 3,956 円）(B)	円	3,164,800	5,538,400	3,956,000	3,956,000	-28.6%	
総費用 (A+B)	円	81,679,360	298,217,673	410,450,475	405,405,596	35.9%		

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○魚津市本江地域交流センター新築工事（R5.6月末完成） R4年度から繰越した建築主体工事、機械設備工事及び電気設備工事を完了。旧本江公民館解体工事及び外構工事を実施完了。 ○経田公民館駐車場舗装工事を実施完了。</p>	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	② 目的の妥当性
有効性	B	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	③ 対象の妥当性	1 妥当である	① 目標達成度	2 目標どおり	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	② 類似事業の有無	1 なし	② 類似事業の有無	1 なし	
結果（課長総括）	B	A	計画どおり事業を実施することが適当	③ 上位施策への貢献度	1 高い	① コスト効率	2 普通	
				② 実施主体の適正化	1 適正である	② 実施主体の適正化	1 適正である	
1次評価	○ 現状を維持 □ 事業の拡充 □ 事業の縮小 □ 統合等の検討 □ 終了又は廃止・休止	方針の説明等	魚津市本江地域交流センターがR5年8月に供用開始した。	③ 負担割合の適正化	1 適正である	2次評価	不要	

1 基本項目	事務事業名	公民館活動振興事業			担当部署	課等名	地域協働課		
	予算事業名	公民館活動振興事業				係名	市民交流係		
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1131		
	事業期間	開始年度	昭和27年度	終了年度	当面継続	会計	一般会計		
	目標名	目標2. 未来につながるまち					款	教育費	
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項目	社会教育費	
	施策名	施策14. 生涯学習の推進						目	公民館費
	基本事業名	基本事業14-1. 学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上					総合計画主な事業		記載あり(評価対象)
	根拠法令						総合戦略との関連		関連なし
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)					集中プランとの関連		関連なし

2 事業概要	事業概要	各地区社会教育振興会(地区公民館)に委託して、生涯学習推進のための各種教室・講座などを開催している。また、地区との共催事業で運動会・敬老会・文化祭を開催している。	
	対象	市民	
	手段(活動指標)	各地区公民館が主体となって各種教室や講座等を開催する。	
	意図(成果指標)	公民館教室等に参加する住民が増え、住民の教養が高まるとともに地域が活性化する。	

3 指 標	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 生涯学習教室開催数	回	399	494	450	465	103.3%	460
	② 共催事業等開催数	回	49	63	65	66	101.5%	66
	① 生涯学習教室等参加者数	人	7,613	9,295	11,000	9,084	82.6%	11,000
			②					

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	7,785,936	9,038,881	9,544,000	8,906,871	-1.5%	
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
⑤一般財源	円	7,785,936	9,038,881	9,544,000	8,906,871	-1.5%		
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	-
	②年間所要時間	時間	400	600	600	600	0.0%	-
	③人件費(②×@ 3,956円)(B)	円	1,582,400	2,373,600	2,373,600	2,373,600	0.0%	
総費用(A+B)	円	9,368,336	11,412,481	11,917,600	11,280,471	-1.2%		

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>各地区社会教育振興会(地区公民館)へ委託し、当該地域に応じた高齢者学級や異世代交流などの各種公民館教室を開催した。また、公民館活動における公民館総合補償保険行事傷害補償への補助を実施した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が感染法上5類に位置付けられたことにより、公民館利用制限等を解除し、コロナ禍前のような事業計画に戻し概ね実施することができた。</p>	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
② 目的の妥当性					1 妥当である	
③ 対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	① 目標達成度	2 目標どおり	
				② 類似事業の有無	1 なし	
				③ 上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2 普通	
				② 実施主体の適正化	1 適正である	
				③ 負担割合の適正化	1 適正である	
結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要		
				1次評価	<p>○ 現状を維持</p> <p>□ 事業の拡充</p> <p>□ 事業の縮小</p> <p>□ 統合等の検討</p> <p>□ 終了又は廃止・休止</p>	<p>方針の説明等</p> <p>事業の委託先について、公民館のコミセン化の検討と併せて、公民館振興事業の委託金と地域振興事業の補助金(まちづくり交付金)の統合も含め検討したが、各地区における公民館事業(生涯学習事業)の事業費及び実施状況を把握するため、統合はしないこととした。</p>

1 基本項目	事務事業名	生涯学習振興事業				担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	生涯学習振興事業					係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	昭和45年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				款	教育費	
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	社会教育費	
		施策名	施策14. 生涯学習の推進				目	社会教育総務費	
		基本事業名	基本事業14-1. 学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市の社会教育全般について助言や意見を受けるため、社会教育委員を設置する。社会教育委員は、東海北陸社会教育研究大会などへの参加を通じて社会教育の現状や動向について研修し、時代にあった社会教育事業の実施につなげていく。 ・学び続けるきっかけづくりとして、初心者を対象とした生涯学習教室を開催する。また、成果を発表する生涯学習フェスティバルを開催する。 ・市民向け教養講座を開催する。
	対象	市民
	手段(活動指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員会議の開催及び社会教育研究大会(東海北陸ブロック)への参加 ・市内における生涯学習教室の開催や習い事などの生涯学習活動を始めたい人への確かな情報提供、生涯学習の新たな指導者の育成を図る。
	意図(成果指標)	<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育委員からの事業への意見や提言を受け、事業に反映させていく。 ・生涯学習に取り組む人が増える。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 生涯学習事業の実施回数	回	2	3	3	3	100.0%	3	
	②								
	成果	① 生涯学習事業の参加者数	人	287	1,234	500	1,235	247.0%	500
		②							

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	2,748,358	2,859,606	3,439,499	3,228,976	12.9%	12,260,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	6,000	7,818	60,000	0	-100.0%	54,000
	⑤一般財源	円	2,742,358	2,851,788	3,379,499	3,228,976	13.2%	12,206,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	900	500	500	500	0.0%	500
	③人件費(②×@ 3,956円)(B)	円	3,560,400	1,978,000	1,978,000	1,978,000	0.0%	1,978,000
総費用(A+B)	円	6,308,758	4,837,606	5,417,499	5,206,976	7.6%	14,238,000	

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○令和5年11月1日に社会教育委員会議を開催し、前年度の実施事業について、委員から意見や提言を受け、令和5年12月に開催した教育委員会の事務の点検及び評価結果を報告した。</p> <p>○市民を対象に山城探訪ツアーを開催した。 【開催日】①令和5年5月13日 【場所】天神山城跡 →参加者15名 ②令和5年11月26日 【場所】松倉城跡 →参加者20名</p> <p>○生涯学習教室友の会や地区公民館で開催する講座受講生の成果を発表する場として生涯学習フェスティバルを開催した。 【開催日】令和6年3月17日【場所】新川学びの森天神山交流館 →来場者数1200人 今回も(一社)にいわ学びの森みらい会議主催の活性化イベント「What's学びの森」と同時開催し幅広い世代の参加者など相乗効果が得られた。</p>	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果(課長総括)	B	B		不要		
妥当性	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	
	有効性	B	B		事業の統合まではいかないが進め方に改善が必要	② 目的の妥当性	1 妥当である
						③ 対象の妥当性	1 妥当である
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	① 目標達成度	2 目標どおり		
				② 類似事業の有無	2 検討の余地あり		
				③ 上位施策への貢献度	1 高い		
1次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	① コスト効率	2 普通	
					② 実施主体の適正化	1 適正である	
2次評価	結果(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	③ 負担割合の適正化	1 適正である	
					不要		

今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ○現状を維持 □事業の拡充 □事業の縮小 □統合等の検討 □終了又は廃止・休止 	方針の説明等	市が主催する生涯学習教室は、生涯学習のきっかけづくりであることから、教室は入門の位置づけとし、併せて新規講師の育成も図る。また、生涯学習教室の開催数の向上のみを実績とするものから、市内開催教室の情報収集や情報提供といった業務に重点を置くものとする。
-------	---	--------	--

1 基本項目	事務事業名	資料収集保存提供事業			担当部署	課等名	図書館	
	予算事業名	資料収集保存事業				係名	図書係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-22-0462	
	事業期間	開始年度	平成10年度	終了年度	当面継続	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				款	教育費
	計画	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり			予算科目	項	社会教育費
		施策名	施策14. 生涯学習の推進				目	図書館費
		基本事業名	基本事業14-1. 学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
		根拠法令	図書館法第3条第1項第1号～第4号				総合戦略との関連	関連なし
	アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、図書、雑誌、新聞、参考図書、視聴覚資料、郷土資料など資料を選び、収集、保存、管理し市民や利用者に提供する。	
	対象	市民及び図書館利用者	
	手段(活動指標)	新刊の図書・雑誌・郷土資料等を購入するとともに、リサイクル資料の積極的な受入や相互貸借等により、より多くの資料を提供する。	
	意図(成果指標)	市民の図書館の利用及び本への親しみが增加する。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 市民	人	40,477	39,919	39,744	39,274	98.8%	38,624	
	② 図書館利用登録者数	人	30,714	31,391	31,500	18,399	58.4%	18,000	
	成果	① 入館者数	人	151,318	156,010	160,000	158,730	99.2%	160,000
		② 貸出冊数(個人)	冊	223,776	215,219	230,000	212,482	92.4%	230,000

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	13,727,572	13,981,394	14,324,000	13,863,314	-0.8%	14,167,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	244,676	471,956	696,000	424,977	-10.0%	748,000
	⑤一般財源	円	13,482,896	13,509,438	13,628,000	13,438,337	-0.5%	13,419,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	4
	②年間所要時間	時間	2,500	2,500	2,500	2,500	0.0%	2,500
	③人件費(②×@ 3,956円)(B)	円	9,890,000	9,890,000	9,890,000	9,890,000	0.0%	9,890,000
総費用(A+B)	円	23,617,572	23,871,394	24,214,000	23,753,314	-0.5%	24,057,000	

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 図書、雑誌、新聞、視聴覚資料、郷土資料などの収集、保存、管理を行い、市民や利用者に提供した。また、資料の照会や本の相談(レファレンス)に対応するとともに、他館との資料の相互貸借を行った。 ・ 雑誌スポンサー制度を継続し、経費の削減を図った。 ・ うおづ電子図書館を運営した。 ・ 寄附金を受け、寄付者の意向に沿いながら本を購入した。 	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	② 目的の妥当性
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	③ 対象の妥当性	1 妥当である	① 目標達成度	2 目標どおり	
効率性	A	B	進め方等の改善が必要	② 類似事業の有無	1 なし	② 実施主体の適正化	1 適正である	
				③ 上位施策への貢献度	1 高い	③ 負担割合の適正化	1 適正である	
				① コスト効率	2 普通			
結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要				
1次評価	○ 現状を維持	方針の説明等	本と電子書籍双方を充実させ、市民の読書活動と生涯学習を支援していく。	2次評価				
	事業の拡充							
今後の方針	事業の縮小							
	統合等の検討							
	終了又は廃止・休止							

1 基本項目	事務事業名	教養・普及事業			担当部署	課等名	図書館	
	予算事業名	教養・普及事業				係名	図書係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-22-0462	
	事業期間	開始年度	平成17年度	終了年度	当面維持	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につながるまち				款	教育費
	画	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり			予算科目	項	社会教育費
		施策名	施策14. 生涯学習の推進				目	図書館費
		基本事業名	基本事業14-1. 学び続ける環境づくりと地域・家庭教育力の向上				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
		根拠法令	図書館法第3条第1項第6号				総合戦略との関連	関連なし
	アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	図書館教室(古文書解説会・読書会など)や文学講座・歴史講座・お話し会・お楽しみ会・シネマ倶楽部などの開催
	対象	市民及びその事業に興味を持って参加される市民以外の方
	手段(活動指標)	図書館映画上映事業、文学講座、歴史講座、おはなし会、子ども向けお楽しみ会、おはなし玉手箱、読み聞かせ講習会、図書館教室(古文書解説会、草かなで読む読書会、魚津読書会、川柳教室)、図書館コンサート
	意図(成果指標)	図書館の資料や設備を利用して、多くの市民が生涯学習の意欲や楽しみを持つことができる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 図書館教室開講数	件	59	53	70	59	84.3%	70	
	② おはなし会開催数	件	0	49	50	51	102.0%	55	
	成果	① 図書館教室参加人数	人	633	460	600	519	86.5%	600
		② おはなし会参加人数	人	0	415	450	485	107.8%	500

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	243,765	591,503	344,000	328,985	-44.4%	194,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	139,500	534,000	320,000	355,000	-33.5%	120,000
	⑤一般財源	円	104,265	57,503	24,000	-26,015	-145.2%	74,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	4	4	4	4	0.0%	4
	②年間所要時間	時間	1,700	1,700	1,700	1,500	-11.8%	1,600
	③人件費(②×@ 3,956円)(B)	円	6,725,200	6,725,200	6,725,200	5,934,000	-11.8%	6,329,600
総費用(A+B)	円	6,968,965	7,316,703	7,069,200	6,262,985	-14.4%	6,523,600	

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館教室(古文書解説会・読書会など)や文学講座・歴史講座、おはなし会、シネマ倶楽部などを開催した。 ・コロナ感染予防対策を緩和し、行事の定員増や定員撤廃を行った。こども行事(おはなし玉手箱)を行った。 ・文学研究者団体「海市社」と連携し講演会を開催した。 	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
② 目的の妥当性					1 妥当である	
③ 対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	① 目標達成度	2 目標どおり	
				② 類似事業の有無	1 なし	
				③ 上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	A	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2 普通	
				② 実施主体の適正化	1 適正である	
				③ 負担割合の適正化	1 適正である	
1次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	○現状を維持 □事業の拡充 △事業の縮小 ◇統合等の検討 ●終了又は廃止・休止	方針の説明等	図書館の郷土資料を活用した質の高い講座、教室を開催する。市民ニーズに応えながら、周知し参加者数の増加を図りたい。	2次評価	

1 基本項目	事務事業名	文化財維持管理事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課
	予算事業名	文化財維持管理事業				係名	生涯学習・文化係
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045
	事業期間	開始年度	昭和38年	終了年度	当面継続	会計	一般会計
	目標名	目標2. 未来につなぐまち					款
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項目	社会教育費
	施策名	施策14. 生涯学習の推進					目
	基本事業名	基本事業14-2. ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
	根拠法令	博物館法、文化財保護法				総合戦略との関連	関連なし
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)				集中プランとの関連	関連なし

2 事業概要	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市内にある文化財の管理。文化財保護審議会及び博物館協議会の開催。 埋蔵文化財調査室の施設管理を適切に行い、発掘調査によって出土した埋蔵文化財を整理し、管理・収蔵及び調査報告書の作成等を行う。
	対象	<ul style="list-style-type: none"> 市内の文化財。 発掘された埋蔵文化財及び発掘調査記録。
	手段(活動指標)	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会及び博物館協議会の開催及び未指定文化財の調査を実施し、文化財の保存や活用を図る。また博物館のより良い運営形態を図る。 出土品及び記録保存された図面等に対する適切な整理・収蔵。
	意図(成果指標)	<ul style="list-style-type: none"> 未指定文化財の調査や、文化財の状況を随時確認することで、文化財の劣化や破壊を防ぎ、後世に残すことができる。 発掘された埋蔵文化財が適切に整理、管理、収蔵される。これにより魚津の文化財として適切に保存されることになる。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 文化財保護審議会及び博物館協議会の開催	件	1	1	2	1	50.0%	1
	②							
成果	① 文化財調査件数	件	1	1	2	2	100.0%	2
	② 新たな指定文化財件数	件	0	0	1	0	0.0%	1

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	703,716	1,634,901	1,671,000	1,250,151	-23.5%	1,643,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
	⑤一般財源	円	703,716	1,634,901	1,671,000	1,250,151	-23.5%	1,643,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	4
	②年間所要時間	時間	1,000	700	700	700	0.0%	700
	③人件費(②×@ 3,956円)(B)	円	3,956,000	2,769,200	2,769,200	2,769,200	0.0%	2,769,200
総費用(A+B)	円	4,659,716	4,404,101	4,440,200	4,019,351	-8.7%	4,412,200	

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>博物館協議会を1回開催(令和6年3月19日)。 県指定史跡である松倉城跡の草刈りを2回実施。 県指定天然記念物である大沢の地鎮杉の草刈りを1回実施。 市指定史跡である升方城跡の草刈りを1回実施。 埋蔵文化財調査室の維持管理。</p>	
	<p>松倉城跡本丸内の倒木処理業務を12月に実施 カモシカ死体処理業務にてR4年度より埋葬業務を民間事業者への業務委託(7千円/件)を実施。</p>	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果(課長総括)	A	A		①	②	
妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である		
				② 目的の妥当性	1 妥当である		
				③ 対象の妥当性	1 妥当である		
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	① 目標達成度	2 目標どおり		
				② 類似事業の有無	1 なし		
				③ 上位施策への貢献度	1 高い		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2 普通		
				② 実施主体の適正化	1 適正である		
				③ 負担割合の適正化	1 適正である		
1次評価	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要			
				2次評価			
今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ○現状を維持 □事業の拡充 △事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止 	方針の説明等	博物館協議会、文化財保護審議会等は市内の博物館や文化財を管理していく上で必要である。また、国、県、市それぞれの指定文化財を適切に維持、管理、活用していく必要がある。				

1 基本項目	事務事業名	文化財保存活用事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	文化財保存活用事業				係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	不明	終了年度	当面継続	会計	一般会計	
	目標名	目標2. 未来につなぐまち					款	教育費
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	社会教育費	
	施策名	施策14. 生涯学習の推進				目	文化費	
	基本事業名	基本事業14-2. ふるさとの歴史や文化財の保存・継承・活用				総合計画主な事業		記載あり(評価対象)
	根拠法令	文化財保護法				総合戦略との関連		関連あり(評価対象)
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(業務委託)				集中プランとの関連		関連なし

2 事業概要	事業概要	市内にある文化財の保存・活用のため、説明看板や標柱、標識の設置を行う。 風水害による文化財の破損の際の調査、修繕を行う。 文化財の保存のための整備、補助、調査を行う。 国指定・重要無形文化財「魚津のタテモン行事」を安定的に開催するための協力、支援を行う。 指定無形民俗文化財の保存団体の実施する事業について、魚津市より補助金を交付し、文化財の保存・継承に必要となる活動や魚津の歴史を研究する歴史同好会の活動について支援する。					
	対象	・市内の文化財。指定無形民俗文化財保存団体。魚津市の歴史を調査研究する団体。 ＜レガシー事業＞魚津市在住の小学生～大人					
	手段(活動指標)	・市内の文化財の保存・活用のために整備を行うとともに、伝統的な祭りの継承に努める。 ・各保存団体において、郷土に伝わる文化財の保存・継承が行われる。 ＜レガシー事業＞ユネスコ無形文化遺産に登録されたたてもん祭りを後世に継承していく意識を高める事業の推進					
	意図(成果指標)	・市民の文化財の認知や保護への理解が深まり、適切に保存されるとともに、祭り等の伝統文化が継承される。 保存会等の活動が活発になり、無形民俗文化財が適切に保存・継承される。また、歴史同好会会員により魚津の歴史や伝統についての調査がなされる。 ＜レガシー事業＞ユネスコ無形文化遺産に登録されたたてもん祭りが後世に安定的に継承される。					

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 文化財保存活用のための整備・補助の件数	件	5	7	5	5	100.0%	5	
	② たてもんの森に関わる事業(森の遊び場)の参加者数	人	22	20	30	37	123.3%	40	
	成果	① 文化財保存活用事業への年間延べ参加者数	人	20	20	30	35	116.7%	40
		② たてもん協力隊参加者数	人	0	108	300	184	61.3%	300

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	3,385,425	7,943,894	6,429,000	3,970,272	-50.0%	7,468,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円			6,429,000	18,348		
⑤一般財源	円	3,385,425	7,943,894	0	3,951,924	-50.3%	7,468,000	
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	2	2	3	50.0%	2
	②年間所要時間	時間	1,000	600	600	700	16.7%	600
	③人件費(②×@ 3,956円)(B)	円	3,956,000	2,373,600	2,373,600	2,769,200	16.7%	2,373,600
総費用(A+B)	円	7,341,425	10,317,494	8,802,600	6,739,472	-34.7%	9,841,600	

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ・松倉城跡・石の門砦、天神山城跡の探訪ツアー開催。 ・市指定の無形民俗文化財保存団体への事業補助(補助団体:布施谷節保存会、鹿熊刀踊り保存会、せり込み蝶六保存会) ・国指定の無形民俗文化財保存団体への事業補助(補助団体:たてもん保存会)。 ・たてもん祭りが開催された。たてもん協力隊には184名の参加があった。 ・全国山・鉾・屋台保存連合会総会出席(京都市)。 	
＜レガシー事業＞ ・R5たてもんの森周辺を会場に5～6歳の未就学児を対象とした自然体験教室を開催(11/12)		

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果(課長総括)	A	A		① 自治体関与の妥当性	② 目的の妥当性	
妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である		
				② 目的の妥当性	1 妥当である		
				③ 対象の妥当性	1 妥当である		
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	① 目標達成度	2 目標どおり		
				② 類似事業の有無	1 なし		
				③ 上位施策への貢献度	1 高い		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	① コスト効率	2 普通		
				② 実施主体の適正化	1 適正である		
				③ 負担割合の適正化	1 適正である		
1次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要		
	今後の方針	○現状を維持 □事業の拡充 △事業の縮小 ●統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	指定文化財や今後保存すべき文化遺産に対して、現状把握と保存・整備・活用についてその地域と連携し、進めていく必要がある。また、ユネスコ無形文化遺産に登録の「魚津のタテモン行事」は、国を代表する祭りの1つとして、その保存と継承に努める責任があり、保存団体と市民、行政が一体となり、安定的運行と後継者育成、PRに努めていく。	2次評価		

1 基本項目	事務事業名	資料館収蔵品移設事業			担当部署	課等名	生涯学習・スポーツ課	
	予算事業名	資料館収蔵品移設事業				係名	生涯学習・文化係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-23-1045	
	事業期間	開始年度	令和4年度	終了年度	令和11年度	会計	一般会計	
	目標名	目標2. 未来につなぐまち					款	教育費
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項目	社会教育費
	施策名	施策14. 生涯学習の推進						目
	基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実					総合計画主な事業	記載なし
	根拠法令						総合戦略との関連	関連なし
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済（業務委託）					集中プランとの関連	関連あり（評価対象）

2 事業概要	事業概要	歴史民俗資料館の解体及び収蔵品の移設を行う。
	対象	博物館施設及び館収蔵品、市民、県内外観光客
	手段 (活動指標)	収蔵品の移設
	意図 (成果指標)	資料館の解体

3 指 標	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 収蔵品の移設(仮収蔵庫)	件	0	2,900	30	30	100.0%	0
	②							
成果	① 資料館の解体	件	0	0	1	1	100.0%	0
	②							

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円		4,285,661	47,249,926	42,206,460	884.8%	4,501,200
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円						
人件費	⑤一般財源	円		4,285,661	47,249,926	42,206,460	884.8%	4,501,200
	①事務事業に携わる正規職員数	人		4	4	4	0.0%	3
	②年間所要時間	時間		1,500	1,500	1,500	0.0%	1,100
総費用 (A+B)	円		10,219,661	53,183,926	48,140,460	371.1%	8,852,800	

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○資料館収蔵品の移設を行った。</p> <p>○収蔵品は、郷土館収蔵庫及び農協会館1階を利用。農協会館については、賃貸借契約を結んだ。(有限会社アイエヌエル)</p> <p>○今後は、仮収蔵施設からの移設についての時期や内容について、関係機関との調整・検討を進める必要がある。</p>	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	結果 (課長総括)	A	A		① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	
妥当性	A	A	特に問題なし	② 目的の妥当性	1 妥当である		
				③ 対象の妥当性	1 妥当である		
				① 目標達成度	1 高い		
有効性	A	A	特に問題なし	② 類似事業の有無	1 なし		
				③ 上位施策への貢献度	1 高い		
				① コスト効率	2 普通		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	② 実施主体の適正化	1 適正である		
				③ 負担割合の適正化	1 適正である		
				結果	A	A	計画どおり事業を実施することが適当
1次評価	今後の方針	○現状を維持	方針の説明等	仮収蔵庫への移設及び資料館の解体は完了した。今後は、仮収蔵庫での収蔵品の維持を続けるとともに、収蔵品の移設について関係機関との調整を行う。	2次評価		
		事業の拡充					
		事業の縮小					
		統合等の検討					
		終了又は廃止・休止					

1 基本項目	事務事業名	水族館施設整備事業			担当部署	課等名	水族博物館		
	予算事業名	施設整備事業				係名	飼育研究係		
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-24-4100		
	事業期間	開始年度	平成20年	終了年度	当面継続	会計	水族館事業特別会計		
	総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				款	水族館費	
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	水族館費	
		施策名	施策14. 生涯学習の推進				目	水族館管理費	
		基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実				総合計画主な事業	記載なし	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連あり (評価対象)		

2 事業概要	事業概要	水族館施設の大規模な施設改修事業	
	対象	①入館者②魚津水族館館内設備	
	手段 (活動指標)	大規模な整備に関する施設改修工事	
	意図 (成果指標)	効果的な改修を行い、4代目水族館建設まで、安定運営を図る。	

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	①年間入館者数	人	111,099	152,871	116,000	149,349	128.7%	152,000
	②							
	①入館者の前年対比	%	112.2	137.6	89.2	97.7	109.5%	116.9
	②							

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	41,685,846	23,456,000	80,358,700	39,023,700	66.4%	86,981,000
	①国庫支出金	円	9,200,000					
	②県支出金	円						
	③地方債	円		12,400,000	72,200,000	35,000,000	182.3%	78,200,000
	④その他 (使用料、雑入等)	円	32,485,846	11,056,000	8,158,700	4,023,700	-63.6%	8,781,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	1,100	1,100	1,100	1,200	9.1%	1,200
	③人件費 (②×@ 3,956 円) (B)	円	4,351,600	4,351,600	4,351,600	4,747,200	9.1%	4,747,200
総費用 (A+B)	円	46,037,446	27,807,600	84,710,300	43,770,900	57.4%	91,728,200	

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ○館内非常用照明更新工事 (R6へ繰越明許) ○低温冷凍機 (ブライントラー) 更新工事 (R6へ繰越明許) ○逆洗ポンプ外更新工事 (R5から明許繰越) ○零相電圧検出器外更新工事 (R5から明許繰越) 	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である	②目的の妥当性
有効性	A	A	特に問題なし	③対象の妥当性	1 妥当である	①目標達成度	1 高い	
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし	③上位施策への貢献度	1 高い	
1次評価	結果 (課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	①コスト効率	2 普通	②実施主体の適正化	1 適正である
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	現状においては、長寿命化計画を立てても、金額が大きすぎて、実施できない修繕が多い。与えられた予算内で優先度を考えて修繕工事を行っており、突発的に生じる修繕は補正対応している。今後、営業に支障のある大きな修繕が生じる可能性が高くなっている。	③負担割合の適正化	1 適正である	2次評価	不要

1 基本項目	事務事業名	水族館企画展事業			担当部署	課等名	水族博物館	
	予算事業名	企画展事業				係名	飼育研究係	
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	昭和56年	終了年度	当面継続	会計	予算なし	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				款	
	根拠法令	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり			予算科目	項	
		施策名	施策14. 生涯学習の推進				目	
		基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
		アウツソーシング導入状況	アウツソーシング導入済()				総合戦略との関連	関連なし
						集中プランとの関連	関連なし	

2 事業概要	事業概要	R5年度より企画展事業を施設管理公社に委託。事業費を公社委託料へ(一般管理事業へ)。テーマを選び、ファミリームを中心に年に数回開催する。	
	対象	来館者	
	手段(活動指標)	春の企画展、ホタルイカ展示、シロエビ展示、夏の企画展、ハロウィン特別展示、クリスマス特別展示	
	意図(成果指標)	企画展を通して、入館者は生物に対して興味がわき、知識が増える。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① 企画展の実施回数	回	7	2	2	2	100.0%	2
	②							
成果	① 年間入館者数	人	111,099	152,871	116,000	149,349	128.7%	152,000
	②							

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	851,127	129,911	0	0	-100.0%	0
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	851,127	129,911	0	0	-100.0%	0
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	2	2	2	0.0%	2
	②年間所要時間	時間	1,760	1,360	1,360	800	-41.2%	800
	③人件費(②×@ 3,956円)(B)	円	6,962,560	5,380,160	5,380,160	3,164,800	-41.2%	3,164,800
総費用(A+B)	円	7,813,687	5,510,071	5,380,160	3,164,800	-42.6%	3,164,800	

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>企画展の企画・実施を施設管理公社に委託。 市学芸員は飼育員と連携して企画の段階から携わった。 ○春の企画展「隠岐の島にいらっしゃいました(^o^)/」 ○企画展「ドジョウ展」 ○ハロウィン特別展示：富山湾大水槽をサポーターによる飾りつけを行った ○クリスマス特別展示：富山湾大水槽をサポーターによる飾りつけを行った</p>	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性
② 目的の妥当性						1 妥当である
③ 対象の妥当性						1 妥当である
有効性	有効性	A	A	特に問題なし	① 目標達成度	1 高い
					② 類似事業の有無	1 なし
					③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	効率性	A	A	特に問題なし	① コスト効率	1 高い
					② 実施主体の適正化	1 適正である
					③ 負担割合の適正化	1 適正である
1次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	<ul style="list-style-type: none"> ○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止 	方針の説明等	事務事業を施設管理公社に委託。公社委託後もこれまでどおり、来館者に学ぶことの楽しさを体験していただけるよう、市の学芸員が飼育員と連携して企画していく。		

1 基本項目	事務事業名	水族館博物館事業			担当部署	課等名	水族博物館		
	予算事業名	博物館事業				係名	飼育研究係		
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-24-4100		
	事業期間	開始年度	昭和56年	終了年度	当面継続	予算科目	会計	水族館事業特別会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につながるまち				款	水族館費	
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	水族館費	
		施策名	施策14. 生涯学習の推進				目	水族館管理費	
	基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)		
根拠法令					総合戦略との関連	関連なし			
アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし			

2 事業概要	事業概要	①水族館の常設展示生物の飼育・展示 ②調査研究 ③普及活動に関わること	
	対象	①常設展示生物 ②入館者 ③普及活動	
	手段(活動指標)	①水族館の常設展示生物の飼育・展示 ②調査研究 ③うおづ水辺の調査隊活動等	
	意図(成果指標)	①水族館の展示生物をよい状態で飼育・展示ができる ②調査研究の結果を年報やホームページで公表する ③普及活動により、水生生物に対する理解が向上する	

3 指	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
標	① 展示生物	点	10,000	10,000	10,000	10,000	100.0%	10,000
	② 調査研究数	件	5	5	5	5	100.0%	5
	① 本年度展示生物数/前年度の展示生物数	%	100	100	100	100	100.0%	100
	② 論文・報告発表数	数	8	8	5	5	100.0%	5

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	2,500,864	3,584,257	1,756,000	1,279,698	-64.3%	2,375,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	2,500,864	3,584,257	1,756,000	1,279,698	-64.3%	2,375,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	2	2	3	50.0%	3
	②年間所要時間	時間	2,280	1,500	1,500	1,800	20.0%	1,800
	③人件費(②×@ 3,956円)(B)	円	9,019,680	5,934,000	5,934,000	7,120,800	20.0%	7,120,800
総	費用(A+B)	円	11,520,544	9,518,257	7,690,000	8,400,498	-11.7%	9,495,800

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	事務事業の一部を施設管理公社に委託 ○市内小学校に配布したメダカの確認と調整 ○ホタルイカ展示・発光実験開催、ホタルイカ発光実験出前講座 ○夏のマツカサウオの光を見てみよう！ ○ミッケピオトープ事業 《調査研究事業・観察会》 ○うおづ水辺の調査隊事業 ○富山県小河川調査(富山県生物学会)淡水魚・両生類など ○魚津沿岸生物調査、魚津市内及び県内の生物調査	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
	妥当性	A	A		特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である	② 目的の妥当性
有効性	A	A	特に問題なし	③ 対象の妥当性	1 妥当である	① 目標達成度	1 高い	
効率性	A	A	特に問題なし	② 類似事業の有無	1 なし	③ 上位施策への貢献度	1 高い	
				① コスト効率	1 高い	② 実施主体の適正化	1 適正である	
				③ 負担割合の適正化	1 適正である			
結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要				
1次評価	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	博物館事業は水族館の命であり、この部分の充実に力を入れるのは欠かすことができない。恒常的な展示更新や話題性のある生物展示、普及活動などを行って、情報を発信することで、魚津水族館の魅力をアピールしたい。またサポーター活動をより充実して、新たな活動につなげていきたい。	2次評価				

1 基本項目	事務事業名	蜷気楼ネットワーク事業			担当部署	課等名	埋没林博物館
	予算事業名	蜷気楼ネットワーク事業				係名	管理係
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-22-1049
	事業期間	開始年度	平成15年度	終了年度	当面継続	会計	一般会計
	目標名	目標2. 未来につなぐまち					款
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項目	社会教育費
	施策名	施策14. 生涯学習の推進					目
	基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実				総合計画主な事業	記載なし
	根拠法令					総合戦略との関連	関連あり(評価対象)
	アウトソーシング導入状況	アウトソーシング導入済(協働)				集中プランとの関連	関連なし

2 事業概要	事業概要	市の観光資源の1つである「蜷気楼」に関する情報の集約、情報交流、発生メカニズムの解明、魚津市民への知識の普及を目指す事業	
	対象	蜷気楼につながりを持つ人、情報及び魚津市民	
	手段(活動指標)	蜷気楼交流会の開催、交流会記録誌の発行 日本蜷気楼協議会と連携した講演会の開催	
	意(成果指標)	蜷気楼に関する人、情報等の交流を促進し、魚津市民には郷土の地域資源としての蜷気楼に関する理解を深める。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 研究発表件数	件	8	10	10	12	120.0%	10	
	② 記録誌配付件数	件	50	50	50	50	100.0%	50	
	成果	① 研究発表会聴講者	人	32	23	50	30	60.0%	50
		② 講演会参加者	人	20	104	50	30	60.0%	50

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	29,660	884,486	216,000	209,207	-76.3%	72,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円		707,486				
	⑤一般財源	円	29,660	177,000	216,000	209,207	18.2%	72,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	700	700	900	500	-28.6%	700
	③人件費(②×@ 3,956円)(B)	円	2,769,200	2,769,200	3,560,400	1,978,000	-28.6%	2,769,200
総費用(A+B)	円	2,798,860	3,653,686	3,776,400	2,187,207	-40.1%	2,841,200	

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○日本蜷気楼協議会と連携した第19回蜷気楼交流会(5/20)を開催した。</p> <p>○特別講演会、研究発表会(5/21)の内容を記録した「第19回蜷気楼交流会記録誌」を発行した。</p>	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性
② 目的の妥当性						1 妥当である
③ 対象の妥当性						1 妥当である
有効性	有効性	B	B	突発的要因あるいは目標値の設定見込が甘い	① 目標達成度	3 低い・未実施
					② 類似事業の有無	1 なし
					③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	効率性	A	A	特に問題なし	① コスト効率	1 高い
					② 実施主体の適正化	1 適正である
					③ 負担割合の適正化	1 適正である
結果(課長総括)	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
					1次評価	<p>○ 現状を維持</p> <p>○ 事業の拡充</p> <p>○ 事業の縮小</p> <p>○ 統合等の検討</p> <p>○ 終了又は廃止・休止</p>

1 基本項目	事務事業名	埋没林博物館教室事業				担当部署	課等名	埋没林博物館	
	予算事業名	博物館教室事業					係名	管理係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-22-1049	
	事業期間	開始年度	平成5年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につながるまち				款	教育費	
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	社会教育費	
		施策名	施策14. 生涯学習の推進				目	埋没林博物館費	
	基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)		
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	主として魚津市民に対し、郷土の自然とふれあいを通して、その重要性や意義への理解を深めることを目的として講座を主催する。	
	対象	魚津市民、魚津市の自然に興味のある人(市民以外を含む)	
	手段(活動指標)	「ふれあい学習会」を開催	
	意図(成果指標)	魚津市の自然に興味を持ち、接する機会を持ってもらう。	

3 指 標	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画
活動	① ふれあい学習会開催回数	回	7	6	3	8	266.7%	5
	②							
成果	① 学習会延べ参加人数	人	352	46	50	81	162.0%	100
	②							

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	77,173	41,416	54,000	50,344	21.6%	43,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	6,000	13,800	18,000	8,500	-38.4%	18,000
	⑤一般財源	円	71,173	27,616	36,000	41,844	51.5%	25,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	800	800	800	700	-12.5%	800
	③人件費(②×@ 3,956円)(B)	円	3,164,800	3,164,800	3,164,800	2,769,200	-12.5%	3,164,800
総	費用(A+B)	円	3,241,973	3,206,216	3,218,800	2,819,544	-12.1%	3,207,800

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○博物館教室を合計9回開催した。 ○今年度よりinfinity~mirageに関する事業を開始しており、関連する博物館教室を3回開催した。 ○「視点で変わるインフィニティミラージュ」「クリスマスリースをつくろう」など大人から子供まで一緒に楽しめるオリジナル企画を盛り込んだ。</p>	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性
② 目的の妥当性						1 妥当である
③ 対象の妥当性						1 妥当である
有効性	有効性	B	B	突発的要因あるいは目標値の設定見込が甘い	① 目標達成度	3 低い・未実施
					② 類似事業の有無	1 なし
					③ 上位施策への貢献度	1 高い
効率性	効率性	A	A	特に問題なし	① コスト効率	1 高い
					② 実施主体の適正化	1 適正である
					③ 負担割合の適正化	1 適正である
1次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等		2次評価	

1 基本項目	事務事業名	埋没林博物館調査研究事業				担当部署	課等名	埋没林博物館	
	予算事業名	調査研究・展示事業					係名	管理係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-22-1049	
	事業期間	開始年度	平成4年度	終了年度	当面継続	予算科目	会計	一般会計	
	総合計画	目標名	目標2. 未来につなぐまち				款	教育費	
		政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり				項	社会教育費	
		施策名	施策14. 生涯学習の推進				目	埋没林博物館費	
	基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)		
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	市内の自然(植物、地質、気象等)を調査研究、記録し、展示や教育普及活動にできる形にして公開し、資料や情報を後世へ伝える。	
	対象	魚津市及び関連地域の自然	
	手段(活動指標)	魚津市内の自然史資料に関する調査、研究、資料収集。報告書、印刷物、展示、講演等による調査研究成果の周知 先進地視察研修 県東部地域のジオパークに係る活動に対する助成	
	意図(成果指標)	調査研究、資料収集等により現況を明らかにし、展示・教育普及等の事業に活用できるようにする。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 野外調査等回数	回	110	50	50	70	140.0%	70	
	②								
	成果	① 新規収集資料数(画像ファイル等のデータ等2次資料を含む)	件	2,850	2,500	2,500	1,500	60.0%	1,500
		② 報告書・出版物・外部執筆・講師派遣等件数	件	51	30	30	30	100.0%	30

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	378,676	1,464,487	1,125,437	1,086,400	-25.8%	1,852,692
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円		1,012,257				
	⑤一般財源	円	378,676	452,230	1,125,437	1,086,400	140.2%	1,852,692
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	900	900	1,000	700	-22.2%	900
	③人件費(②×@ 3,956円)(B)	円	3,560,400	3,560,400	3,956,000	2,769,200	-22.2%	3,560,400
総費用(A+B)	円	3,939,076	5,024,887	5,081,437	3,855,600	-23.3%	5,413,092	

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ○魚津市の植物に関する調査研究 ○蜃気楼に関する調査研究 ○魚津市の地質・地学分野に関する調査研究 ○各種講座等への講師派遣 ○広報誌等の執筆、編集、発行 ○映像ホール調査、視察 	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目	
	結果(課長総括)	A	A		不要	個別評価の判定
1 次評価	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
	有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	② 目的の妥当性	1 妥当である
	効率性	A	A	特に問題なし	③ 対象の妥当性	1 妥当である
2 次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	① 目標達成度	2 目標どおり
	今後の方針	○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止	方針の説明等	市内を中心に恒常的に調査を行いデータの蓄積を行い、情報を発信することで博物館の魅力をアピールしていく。	② 類似事業の有無	1 なし
					③ 上位施策への貢献度	1 高い
					① コスト効率	1 高い
					② 実施主体の適正化	1 適正である
					③ 負担割合の適正化	1 適正である

1 基本項目	事務事業名	埋没林博物館展示事業			担当部署	課等名	埋没林博物館		
	予算事業名	調査研究・展示事業				係名	管理係		
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-22-1049		
	事業期間	開始年度	平成4年度	終了年度	当面継続	会計	一般会計		
	目標名	目標2. 未来につながるまち					款	教育費	
	政策名	政策07. 誰もが学び豊かな心を育てるまちづくり					項目	社会教育費	
	施策名	施策14. 生涯学習の推進						目	埋没林博物館費
	基本事業名	基本事業14-3. 博物館の充実					総合計画主な事業		記載あり(評価対象)
	根拠法令						総合戦略との関連		関連なし
	アウトソーシング導入状況						集中プランとの関連		関連なし

2 事業概要	事業概要	調査研究の成果をもとに展示を発案・作成し、知識や情報を親しみやすい形で市民及び博物館利用者に提供する。	
	対象	常設展示・企画展示内容及び展示物、魚津市民及び入館者	
	手段(活動指標)	企画展を実施	
	意図(成果指標)	展示を企画・製作し、利用者の観覧に供する。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 展示企画開催件数	件	6	6	7	9	128.6%	8	
	② 企画展開催日数	日	346	347	347	335	96.5%	292	
	① 企画展示期間入館者数	人		19,154	27,000	27,000	25,728	95.3%	27,000
			②						

4 コスト情報	区分	単位	R3年度	R4年度	R5年度			R6年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	690,038	6,592,620	2,095,563	2,022,624	-69.3%	1,511,988
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円		4,715,850				
	⑤一般財源	円	690,038	1,876,770	2,095,563	2,022,624	7.8%	1,511,988
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	3	0.0%	3
	②年間所要時間	時間	900	900	1,000	800	-11.1%	900
	③人件費(②×@ 3,956円)(B)	円	3,560,400	3,560,400	3,956,000	3,164,800	-11.1%	3,560,400
総費用(A+B)	円	4,250,438	10,153,020	6,051,563	5,187,424	-48.9%	5,072,388	

5 取組内容	令和5年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	○夏の企画展「なんでそこに生えるの? 魚津のジオと植物」(7/15~9/30)の開催	
	○「曇気楼写真展」(5/1~6/30)の開催	
	○infinity~mirageプロジェクト 謎解きスタンプラリー(令和6年3月15日までの)の開催	
	○「魚津ナチュラルギャラリー23」(1/2~4/30)の開催	
	○「魚津ナチュラルギャラリー24」(1/2~4/30)の開催	
	○大野隆雄 写真展(3/5~4/29)の開催	
	○長田達明 写真展(7/7~8/31)の開催	
	○野村英樹 写真展(10/1~29)の開催	
	○星 弘之 写真展(11/1~12/27)の開催	

6 評価	評価の視点	R4評価	R5評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定	
妥当性	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1	妥当である	
					② 目的の妥当性	1	妥当である	
					③ 対象の妥当性	1	妥当である	
有効性	有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評価への影響低い	① 目標達成度	2	目標どおり	
					② 類似事業の有無	1	なし	
					③ 上位施策への貢献度	1	高い	
効率性	効率性	A	A	特に問題なし	① コスト効率	1	高い	
					② 実施主体の適正化	1	適正である	
					③ 負担割合の適正化	1	適正である	
結果(課長総括)	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要			
					1次評価	○現状を維持 事業の拡充 事業の縮小 統合等の検討 終了又は廃止・休止	方針の説明等	埋没林、曇気楼等に代表される魚津市の自然について、市民や市外からの来訪者の興味を喚起し、理解や保護意識を高めるため継続して実施。